

2016年度診療報酬改定研究会神戸会場のご案内



2014年研究会神戸会場（医科診療所）の様子

診療報酬改定4月実施にともない、協会は県下各地で改定研究会を行います。神戸会場の日時・会場は以下の通りです。研究会には、会員の先生はもちろん、職員の方も皆さんでご参加ください。

会員の先生方宛てに研究会の案内ハガキを3月上旬にお送りします。ハガキと引き換えに会場で研究会資料をお渡しします。案内ハガキを忘れずにご持参ください。

【医科診療所】

- ① 3月24日（木）14：00～
兵庫県農業会館11階大ホール
- ② 3月26日（土）14：00～
兵庫県農業会館11階大ホール

【病院】

- 3月24日（木）16：30～
兵庫県農業会館11階大ホール

【歯科】

- ① 3月20日（日）14：00～
兵庫県農業会館11階大ホール
- ② 4月3日（日）14：00～
兵庫県保険医協会5階会議室

【調剤】

- 4月23日（土）16：00～
兵庫県保険医協会5階会議室



協会はホームページで行事のご案内や研究会の抄録、県下各地の活動やニュースなど多彩な情報を発信しています。

診療報酬改定の特設サイトも設置し、最新情報をいち早くお知らせしています。また、Q & Aの掲載やWebでの改定に関する問い合わせもご利用いただけます。ぜひご活用ください。

兵庫県保険医協会

287号 2016年2月25日

神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

神戸空港開港10年

破綻うきぼり 運営権売却へ

「ストップ！神戸空港」の会が宣伝と抗議集会



市役所前集会では40人が集まって、赤字の神戸空港政策を批判した

神戸空港が2月16日、開港から10年を迎えた。市は「利用者が2500万人を超えた」「医療産業都市の発展に貢献している」などとし、神戸新聞に異例の4ページにわたる広告を掲載するなどの大宣伝を行い、祝賀ムードで盛り上げようとした。しかし市長自身が、空港売却方針を表明しているように、空港事業の破綻はすでに明白になっている。協会神戸支部が参加する「ストップ！神戸空港」の会などは、開港10年に合わせて空港事業の問題点を明らかにする集会の開催や書籍の発行を行っている。

協会神戸支部も加入する「ストップ！神戸空港の会」は、「神戸空港『10年検証』震災復興『希望の星』から運営権売却まで」としたパンフレットを発行。16日に神戸市勤労会館で発行記念集会を行い、同会の北岡浩事務局長がその内容

を解説した。

北岡氏は、神戸市の宣伝する「利用者2500万人」は、市の見込みを大幅に下回るものと批判。市の見込みは開港時に319万人、2015年には434万人になるというものだが、利用客が300万人を超えたことは一度もなく、見込み違いは明らかとした。さらに、「利用率は65%」などとしていることにも、数字操作が隠されていると指摘。利用率は、利用客数を提供座席数で割ったものだが、この提供座席数は航空会社が小型機へ機種変更するなどで、2006年度450万席から、2014年度には377万席へと約8割に縮小している。利用客が減っても、利用率には表れにくい仕組みがあるとした。

さらに北岡氏は、空港の管理収支についても、7割が補助金と赤字補てんで借金は増え続けているとし、市が表明した「運営権の売却」もきわめて危険と警鐘をならし

た。関西国際空港・伊丹空港の場合は、民間事業者である関西エアポートが、負債を44年間にわたって払い続ける契約だが、神戸空港の場合は、逆に負債が切り離される可能性がある」と指摘。「債務の切り離し」とは、459億円以上もの負債を神戸市が返済し続けるということで、結局は市民の税金で債務を解消せざるをえなくなるとした。

集会は武村義人協会副理事長が、同会代表として開会あいさつを述べ、「空港問題の間違いの原点は、震災復興の星として、被災者無視で事業を進めたことにある。借り上げ復興住宅からの追い出しが問題になっているが、今でも空港と震災復興は一本につながった課題。空港の実態を検証し市民に知らせていこう」とした。集会には50人が参加した。

同日には、神戸市役所前でも同会等の主催で抗議集会が行われ、40人が参加した。

長田区社保協が総会

社会保障守るため働く人の連帯を



(左) 長田区社保協総会には9団体から30人が参加

(右) 社会保障充実には労働者の連帯が重要と語る神戸大学発達科学部講師の井口克郎先生

神戸支部が加盟する長田区社会保障推進協議会は、12月12日に神戸平和と労働会館で第13回定期総会を開催し、9団体から30名が参加した。役員選出では代表幹事に木村彰宏協会評議員（いたやどクリニック院長）が再選された。

記念講演では、神戸大学発達科学部講師井口克郎先生が「平和のための基本的人権—社会保障、働き方のルール—の現状から—」をテーマに講演。講師は、「変質」から「解体」へ向かう日本の社会保障制度をめぐる情勢を解説し、「雇用・労働の規制緩和により格差が広がり、労働者・市民間における分断作用が起こる中でも、労働者の不満は政府や企業へ向かず、自分より下の人へ向けてしまう。憲法違反の社会で

あることに反対の声をあげることが大事だ」とした。

最後に、「日本政府は、人権改善を求める要請や勧告を国連から度重なって受けている。労働問題・平和問題・社会保障の根っこは同じ。みんなで連帯を！」と参加者に呼びかけた。

長田区社保協では、今後も引き続き住民の切実な要求実現を目指して、学習会・相談会開催や街頭宣伝・署名活動に取り組む。

開業医手作り 健康情報テレホンサービス 月替わり健康情報 ☎ 0120-979-451

2月のテーマ

- 月曜日 自然分娩と帝王切開
- 火曜日 歯と歯の間の清掃
- 水曜日 保険でできる形成外科
- 木曜日 太ももの付け根の鼠径ヘルニア
- 金土日 全身に効く貼り薬

3月のテーマ

- 月曜日 妊婦さんの服薬
- 火曜日 鍼灸の効能
- 水曜日 メタボとロコモ
- 木曜日 うつ病と、うつ状態
- 金土日 紫外線と皮膚の老化